

育雛期におけるサシバの食物内容

久保上 宗次郎*

Diet of nesting Grey-faced Buzzard-eagles in Mikata, Fukui.

Soujiro KUBOKAMI*

ABSTRACT: Nesting performance of a pair of Grey-faced Buzzard-eagles *Butastur indicus* were observed during 2 breeding seasons (1983-1984) in Mikata, Fukui, Japan. In each brood, all of 3 chicks fledged successfully. During 58 h 59 m observation in the day time, 67 prey, 2 nest materials and 14 unknown deliveries to the nest by parents were observed. Of 67 prey, 16 myriapods, 3 orthoptera, 2 frogs, 1 lizard, 13 snakes and 9 insectivores were identified.

はじめに

サシバ (*Butastur indicus*) は、古くから「タカの渡り」で知られ、なじみ深いワシタカ類の1種である。近年では、渡りの経路について全国的規模の調査が日本野鳥の会などによって進められている。しかし、育雛期に関する報告は小島(1982)などにみられるものの少ない。

筆者は、1982年4月から1985年6月まで、福井県三方郡三方町白屋地区においてサシバの単内観察を主とした繁殖活動の調査を行い、若干の知見を得ることができた。今回、育雛期における食物内容について報告する。

なお、このサシバは1985年7月25日に日本テレビ系で放映された「木曜スペシャル」に登場した繁殖ペアである。

本報告にあたり、沢田喬カメラマンをはじめとする現地取材班の方々には、取材の傍ら調査に対するご協力および取材記録の資料提供ならびに日々の観察結果について夜遅くまで論議に加わっていただいた。また、原稿に目を通していただくなど日頃より助言とご指導をいただいている池田善英氏(金沢大学大学院自然科学研究科生命科学専攻環境生物学講座)に対し、ここに厚くお礼申し上げる。

調査期間と方法

巢内の長時間観察は、1983年および1984年の育雛期(4~7月)において6回(6日間)実施した。巢より約70メートルの地点にブラインドを設営し、20~60倍の望遠鏡による直接観察を行った。ま

* 919-13 三方郡三方町南前川 日本野鳥の会会員

た、8ミリカメラを用いた自動記録装置により巣内を撮影して、直接観察によって得られたデータの補完を図った。

サシバは、人影や物音に対して神経質な鳥であるため、ブラインドへの出入りにあたっては、地物や木陰を利用して侵入するなど、巣の付近では鳥を刺激しないように留意した。また、新規の観察行動を行う際には、複数地点からの遠望により、鳥の動向を見極めながら作業を進めた。

調査対象のサシバの巣は、兩年とも同一のもので、各3羽の巣立ちに成功している。親鳥は雌雄の2羽と思われた。巣内雛は各年とも3羽で体の大きい方から順にA・B・Cと名付けた。

親鳥の入巢した時刻および巣内雛が餌を食い始めた時刻については1分単位で記録した。

搬入物の識別にあたっては、餌・巣材・不明の3区分とした。餌および巣材は外観上識別が可能であったものの他、巣材整理および給餌行動の観察によって確認した。親鳥が入巢する際には、巣内雛が一斉に鳴き声を出して羽ばたくなどの兆候がみられることもあるが、観察者の気付かない間に入巢していたことや木枝および巣材の陰に入り見えにくいこともあった。搬入された物が餌および巣材のいずれかに区分できなかった場合は、不明として取り扱うものとした。

搬入された餌および巣内に残存していた餌を分類することにあたっては、外見上容易に識別することができる範囲において、哺乳類（ネズミ・モグラの類）・昆虫類（直翅目）・多足類（ムカデ・ヤスデの類）・ヘビ類・カエル類・トカゲ類・その他（イモムシ・膜翅目の巣）に区分した。なお、巣内雛および親鳥が食べたもののうち識別できない場合を餌（不明）とした。

結果および考察

今回の調査では、雌親鳥の抱卵・抱雛行動を除外すれば、親鳥の巣内滞在時間は数秒間くらいで長くても数十秒以内であったが、このことは、巣内雛期の初期と後期の限られた時期であったことによるものと思われる。

総調査時間58時間59分のうち、親鳥の巣への出入りは83回観察された。1回の平均入巢時間は43分であった。そのうち、餌の搬入を確認できるものが67回（80.7%）、巣材2回（2.4%）、不明14回（16.9%）であった。観察概要および日毎の観察記録をそれぞれ表1～7に示す。

今回の調査で明らかになった食物内容の内訳は、多足類16例（34.8%）・ヘビ類13例（13.6%）・哺乳類9例（19.6%）・昆虫類3例（6.5%）・カエル類2例（4.3%）・トカゲ類1例（2.2%）・その他2例（4.3%）の計46例であった。最大の餌はアオダイショウ（*Elaphe climacophora*）で体長約120cmあり、頭部は食いちぎられた状態で足につかんで搬入された。多足類などの小型の餌は嘴に数匹くわえて搬入されたことも珍しくはなかった。

山階(1941)は、育雛期における食物としてネズミ・スズメ・ヘビ・トカゲ・カエル・昆虫を報告しており、清棲(1965)は、一般食性として哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類などとしている。また、石沢(1967)は、サシバ16個体の胃内容物から昆虫類、鳥類、哺乳類を検出し、その結果などから4月に哺乳類、繁殖期および7月には昆虫類を多く食べるものと推察している。大まかに比較すれば、今回の結果とこれらの報告はほぼ一致している。しかし、本調査では鳥類が見あたらないことおよびヘビ類の占める割合が高い点が異なっている。測定はしていないが餌の重量では、およそヘビ類が

大半を占め、次で哺乳類が優占しているものと思われる。その他、「膜翅目の巣」の摂食例がある。雄親鳥が搬入したものを抱卵・抱雛中の雌親鳥が丸飲みにしたもので、膜翅目の種類および幼虫の有無の確認はできなかったが、いずれにしても、本種における食物の多様性を示唆しているものと思われる。

文 献

石沢慈鳥・千羽晋示，1967：日本産タカ12種の食性，山階鳥類研究所報告．27：13－33.

清棲幸保，1978：日本鳥類大図鑑Ⅱ，講談社．

小島幸彦，1982：サシバのテリトリーとテリトリー行動，日本鳥学会誌．30：117－147.

山階芳磨，1980：日本の鳥類と其の生態2，出版科学総合研究所．

表1 1983年および1984年度の観察概要

年・月・日	天 候	観 察 時 間	摘 要
1983. 4. 13	晴後曇	8：40－9：15	本年度の渡来を初認（ペア）
6. 11	曇	15：40－16：50	営巣を確認（巣内雛3羽・全身白色である）
15	曇	11：30－12：20	簡易ブラインドを設営する。
26	曇	11：00－12：30	巣内雛の羽ばたきおよび枝移り行動が盛んに見られた。
27	曇	6：00－18：30	”
28	晴	5：30－19：03	”
29	曇後晴	5：30－19：00	”
30	曇	6：45－17：00	”
7. 1	曇	9：30－11：00	”
2			1羽巣立ち（営巣木より飛び出す）
3	曇	14：30－15：30	他の2羽とも巣立ちしていた。
7		13：10－15：40	巣の近くの林内の営巣木以外で幼鳥3羽を確認。
1984. 4. 17	晴	7：00－14：00	本年度の渡来を初認（ペア）
21	曇後雨	14：00－17：00	交尾3回。巣への出入り2回。
5. 3			親鳥が巣内で伏せている（抱卵中？）。
6. 1	晴	8：10－15：51	巣内雛1羽 ♂餌の搬入 ♀雛へ給餌。
3			巣内雛3羽。
7. 3	晴	8：45－11：45	巣内雛の羽ばたきおよび枝移り行動が盛んに見られた。
12	晴	10：50－11：40	巣内雛（3羽）は，すでに巣立ちしていた。

表2 巢内観察の記録 (1983. 6. 27)

6:00	観察開始。
8:45	親鳥(♀): 巢に入る。
8:50	親鳥: 巢に入る。
9:05	親鳥: ネズミ・モグラ類を搬入する。A: 丸ごと呑込む。
9:10	親鳥: 直翅目を搬入する。B: 食う。
9:35	親鳥: 巢に入る。
9:56	親鳥: 巢に入る。
10:20	親鳥: 巢に入る。
10:22	親鳥: 巢に入る。
10:26	親鳥: 巢に入る。
11:20	親鳥: 多足類を搬入する。A: 食う。
11:40	親鳥: 多足類を搬入する。A: 食う。
11:43	親鳥: 多足類を搬入する。C: 食う。
11:50	親鳥: 巢に入る, 続いて別の親鳥が多足類を搬入する。C: 食う。
12:00	親鳥: 多足類を搬入する。C: 食う。
12:08	親鳥: 多足類を搬入する。
12:09 - 12:12	親鳥: 巢材(松葉)を搬入する。
12:12	親鳥: 巢材(松葉)を搬入する。
12:09	この間に餌(不明)の搬入2回あり。
12:21	親鳥(♀): 巢に入る, 直後に♂入巢, 数秒後♀の方から出巢する。
12:22	親鳥: 多足類を搬入する。A: 食う。
12:40	親鳥: 巢の直上を飛び回り盛んに鳴く, 巢内雛3羽は上空を注視する。
13:10	親鳥: 餌(不明)を搬入する。BとAの間で餌の奪い合い, A: 食う。
14:05	親鳥: 多足類を搬入する。C: 食う。
14:22	親鳥: 餌(不明)を搬入する。C: 食う。
14:26	親鳥: 餌(不明)を搬入する。B: 食う。
14:58	親鳥: ヘビ類を搬入する。C: 頭部を, B: 尾部を足で押え込む, C: 食いはじめる。
15:00	C: ヘビの頭から食う。B: 尾をくわえて餌を引き寄せようとするが失敗。
15:20	B: 先のヘビを食いはじめる。
15:35	B: 先のヘビの尾部(食い残し全部)を呑込む。
17:05	親鳥: 多足類を搬入する。B: 食う。
17:20	親鳥(♂): ヘビ類を搬入する。直後に♀が入巢し♂♀の順に出巢する。 CとAで餌を奪い合い, C: 食い始める。
17:43	A: 先のヘビを食いはじめる, C: 巢の縁に移動する。
18:50	観察終了。

表 3 巣内観察の記録 (1983. 6. 28)

5:30	観察開始。
5:42	親鳥(♂):ヘビ類を搬入する。同時に♀が入巣する。♂出巣後, ♀も巣を出る。
7:23	親鳥(♀):餌(不明)を搬入する。B:食う。
7:45	親鳥:餌(不明)を搬入する。
7:55	親鳥:直翅目を搬入する。B:食う。
8:42	親鳥:餌(不明)を搬入する。C:食う。
9:45	親鳥:多足類を搬入する。C:食う。
10:40	親鳥:餌(不明)を搬入する。A:食う。
11:17	親鳥:ネズミ・モグラ類を搬入する。B:食う。
11:20	親鳥:トカゲ類を搬入する。C:食う。
11:35	親鳥:ヘビ類を搬入する。食わないで巣内に放置。
11:35	A:食い残し(ネズミ・モグラ類)を食う。
11:43 - 12:25	この間に, 親鳥:ヘビ類を2回(2個体)およびネズミ・モグラ類1回(1個体)を搬入する。A:哺乳動物を食う。B, C:ヘビ類を食う。
14:15 - 14:30	この間に, 親鳥:ヘビ類および多足類を搬入する。
14:50	親鳥:ヘビ類を搬入する。
15:07	親鳥:ヘビ類を搬入する。C:食う。
15:47	親鳥:餌(不明)を搬入する。C:食う。
15:53	親鳥:多足類を搬入する。C:食う。
16:05	親鳥:ネズミ・モグラ類を搬入する。C:食う。
16:25	親鳥:餌(不明)を搬入する。A:食う。
18:20	親鳥:ヘビ類を搬入する。C:食う。
18:44	B:残留している餌を食いはじめる。
19:03	観察終了。

表 4 巣内観察の記録 (1983. 6. 29)

5:30	観察開始。
6:05	親鳥:餌(不明)を搬入する。
6:20	親鳥:餌(不明)を搬入する。
6:34	親鳥:巣に入る。すぐに出巣する。
8:35	親鳥:多足類を搬入する。B:食う。
9:00	親鳥:巣に入る。
12:15	親鳥(2羽):巣の上空において旋回飛行を繰り返す, 内1羽がヘビ類に足に持つ。
13:08	親鳥:マムシを搬入。B:食う。C:Bが食べている最中に引っ張り込んで独占して食う。
13:37	A:残留しているヘビ類を食う。
13:46	B:残留しているヘビ類の背骨を更に小さく引き裂いて食う。
14:22	親鳥:アオダイショウ(約1.2m)を搬入する。C:食いはじめる。
15:35	親鳥:餌(不明)を搬入する。
18:40	C:残留しているヘビ類を丸ごと呑みこむ。
19:00	観察終了。

表 5 巢内観察の記録 (1983. 6. 30)

6 : 45	観察開始。
8 : 43	親鳥 (♂) : ネズミ・モグラ類を搬入する。A : 食う。
10 : 29	親鳥 : ネズミ・モグラ類を搬入する。C : 食う。
12 : 07	親鳥 : 餌 (不明) を搬入する。B : 食う。
12 : 47	親鳥 : カエル類を搬入する。C : 食う。
14 : 49	親鳥 : マムシを搬入する。巢内雛 2 羽・奪い合う。
15 : 17	親鳥 : ネズミ・モグラ類を搬入する。C : 食う。
15 : 28	親鳥 : 多足類を搬入する。B : 食う。
16 : 05	親鳥 : 餌 (不明) を搬入する。巢内雛 1 羽 : 食う。
17 : 00	観察終了。

表 6 巢内観察の記録 (1983. 7. 1)

9 : 30	観察開始。
9 : 43	親鳥 : 多足類を搬入する。C : 食う。
9 : 45	親鳥 : 餌 (イモムシ : 緑色の虫 ?) を搬入する。C : 食う。
9 : 58	親鳥 (♀) : 餌 (不明) を搬入する。C : 食う。
10 : 23	親鳥 (♂) : 餌 (不明) を搬入する。A または B : 食う。
10 : 25	親鳥 (♀) : 巢の上部の枝上で、直翅目を雛に給餌する。
10 : 30	親鳥 (♀) : 餌 (不明) を搬入する。C : 食う。
10 : 35	親鳥 : 多足類を搬入する。C : 食う。
10 : 45	親鳥 (♂) : 餌 (不明) を搬入する。A または B : 食う。
10 : 50	親鳥 (♀) : 餌 (不明) を搬入する。C : 食う。
11 : 00	観察終了。

表 7 巢内観察の記録 (1984. 6. 1)

8 : 10	観察開始。親鳥 (♀) : 巢内にて伏せている (抱卵および抱雛中)。
10 : 19	親鳥 (♂) : 「膜翅目の巢」を搬入する。♀ : 「膜翅目の巢」を丸呑みにする。雛 1 羽を初認。
10 : 20	親鳥 (♂) : 出巢する。
10 : 23	親鳥 (♀) 雛に給餌する (カエル類・小さく引き裂いて)。孵化している雛は 1 羽である。
10 : 23	親鳥 (♀) : 巢内に伏せる (再び抱卵および抱雛を開始)。
11 : 47	親鳥 (♂) : ネズミ・モグラ類を搬入する。♀ : 立ち上がり食いはじめる。♂ : 出巢する。
11 : 51	親鳥 (♀) : 食いおわり、巢内に伏せる (再び抱卵および抱雛を開始)。
12 : 01	親鳥 (♀) : 卵殻の破片を嘴でくわえ、移動させる。
15 : 38	親鳥 (♀) : 立ち上がり、雛 1 羽に給餌する (ネズミ・モグラ類、小さく引き裂いて)。
15 : 42	親鳥 (♀) : 巢内に伏せる (再び抱卵および抱雛を開始)。
15 : 51	観察終了。